

## 平成 19 年度第 2 回図書館協議会 会議概要

- 1 協議会名.....平成 19 年度第 2 回安曇野市図書館協議会
- 2 日 時.....平成 20 年 1 月 30 日 午後 1 時 30 分から午後 3 時 45 分 まで
- 3 会 場.....明科総合支所大会議室
- 4 出席者..... 甕会長、望月副会長、清沢委員、小福委員、金子委員、千国委員、栗林委員、小林委員、加々美委員、三重野委員、二村委員、熊井委員
- 5 市側出席者.....望月教育長、松枝社会教育課長、保崎豊科図書館長、尾台穂高図書館長、三澤三郷図書館長、唐沢堀金図書館長、百瀬明科図書館長、曾根原社会教育課長補佐、原野交流学习センター係長、有賀文化振興係副主幹、北澤文化振興係副主幹、内川文化振興係主査、財津文化振興係主査、吉田文化振興係主査、沖交流学习センター係主査、斉藤堀金図書館非常勤嘱託職員
- 6 公開・非公開の別.....公開
- 7 傍聴人 1 人.....記者 0 人
- 8 会議概要作成年月日 平成 20 年 1 月 31 日

### 1.開会（松枝社会教育課長）

### 2.あいさつ（甕会長）（望月教育長）

### 3.協議事項

#### (1)「安曇野市交流学习センター整備計画の現状について」【事務局より説明】

委員・・・穂高交流学习センターの図書館の児童コーナーについてだが、全面ガラスは安全面でも問題があるので書架をつけたらどうかという意見があったが、その変更はどうなったのか。司書などから変更についてかなり強い要望が出ていたので、安全面などから改善を聞き入れていただけるものと信じていた。

委員・・・東側に長い建物だが非常口は。

事務局・図面の右下のウッドデッキの右側、お話の部屋の右側、円形のテーブルのところなどが開閉可能な場所。全面ガラスの部分については腰高までの壁がある。小さな子どもが突っ込んでしまうということは無いように変更した。ガラスに子どもが手を触れ汚れてしまうということがあるので、ベンチなどを置き、直接ガラスに触れないようにある程度配慮した。全体のイメージ、建物のデザインの大きな部分でもありご理解いただきたいと考えている。

#### (2)実施したアンケート調査結果について【事務局より説明】

委員・・・回収枚数について。穂高の登録者数が 8,091 人。それに比べて 1,118 人。ちょっと少ないので、果たして出ている結果がその参考になるのか。

事務局・アンケートを実施したからといってすべての市民の意が入っているとは思っていない。各図書館窓口でアンケート用紙を配布、現在あまり図書館を利用していない方からの意見聴取として市ホームページでもアンケートを実施、またブックスタート実施時や市内全 7 校の中学校図書館カウンターでもアンケート用紙を配布した。このアンケート結果からある程度方向性を斟酌することはできると思っている。

委員・・・広報は全家庭に配布される。広報にて要望を聞くというのはどうか。

事務局・今後またアンケートを実施するということがあれば検討したい。今回はアンケートを実施した結果の報告ということでお願いしたい。

委員・・・詳細な個別意見まで拾っていただいても有り難いが、このなかで一番気になったのは、中央図書館に関する表現。中央図書館という意味がわからないままアンケートを書いている方が多い。中央図書館というのは単に真ん中にあるから中央というのではなくて、行政上の都合によって中央と位置づけるということ。中央図書館というものの説明をする機会を捉えてしていただければいいの

かなあと思う。1,100人分のアンケートをすべて書き出すのはやや問題があるのではないかな。満足、まあまあ満足、わからないといった点を中心に考えていけばいいと思う。6から7割の人が理解していればいいことと思う。インターネットで個別意見まで公開しているのか。

事務局・すべて公開している。

委員・・1人の意見が10万人位の意見のようにとられてしまうと思うが。

### (3) 中央図書館の選書にむけた現在の作業について【事務局より説明】

委員・・本を購入する流れはどうなっているのか。本屋から見積りどおり、請求があったとおりに支払うということか。

事務局・本を購入する場合、普通は定価でということになるのだが、安曇野市では定価よりも安い金額で購入している。中央図書館開館に向けかなりの数を購入することになるが、競争入札になるか随意契約となるか、できるだけ安くなるよう今後十分に検討していきたい。

委員・・中央図書館に関してということでの説明だが、各館の方は選書というかたちをとるのか。

事務局・例えば中央図書館のあと豊科図書館の選書をする場合、中央図書館との兼ね合いを考えながら、地域の方に使っていただけるようにしなければならない。中央図書館とすみわけも必要だが、すべてというわけにはいかない。その辺は非常に難しい。

### (4) 図書カードの変更及び中央図書館へのICタグの導入について【事務局より説明】

委員・・リライトカードは何回位使えるのか。

事務局・500回位繰り返し使える。

委員・・1人1枚はもったいないので家族で1枚にしたらどうか。図書館利用者はよそから安曇野に来た人が多いので、市役所に移住の手続きの際自動的に図書カードを与えたらどうか。

事務局・図書カードを各家庭に1枚配布とすれば確かに経費の削減にはなるのかと思うが、使い勝手がいいのかどうか。

委員・・保険証みたいにコピーでもいいとしたらどうか。

事務局・リライトカードは機械を通すことによって個人を認識する。また条例等でこういった方は登録できるという規定があるため、それに合致するか判別する必要もある。そうすると個人ベースの方がいいのではないかなと思う。それから転入した方に図書カードを配るということについてだが、図書館登録者を正確に把握するという意味でも、意思をもって登録していただいた方に対して図書館サービスを展開していくことが必要だと思う。

委員・・逆に現在登録している人で実際に利用している方は何パーセント位か。

事務局・3年を更新期間としており、3年を過ぎるとその図書館カードは使えなくなるので、ある程度正確に把握していると考えられる。

委員・・近くの図書館でもこのリライトカードは導入しているか。

事務局・大町で合併を機に利用している。

委員・・導入した館では問題なく使用できているか。

事務局・実際に使用している館に視察に行ったが、機械を清掃するための薬品がちょっと高いという話は聞いたがそれくらい。県内では須坂でも導入している。

委員・・リライトカードは1月から12月まで何を借りたか知りたいという時にはそれができるのか。

事務局・基本的には借りたときに印字をして返すとそれは消す。図書館ではなるべくどなたがどんな本を借りたかという情報をもたないようにしている。

委員・・それは図書館側の都合ではないのか。利用者としては何月になんの本を借りたかわからなくなる。

事務局・図書館がどこまで個人情報を持つかということとの兼ね合いがある。一部の図書館では子供を対象に預金通帳のようなものを渡して、いつ何を借りたか記録し読書の楽しみをしってもらうということをやっ

ているが、まだその通帳が高いため広まってはいない。

委員・・リライトにしても IC タグにしても導入するときは経費がかかるかもしれないが、今の職員の人数などを考えると大いに取り入れていくべきだと思う。人件費や職員の仕事量の軽減などにつながるいい機会と考えるべきだと思う。

#### (5)中央図書館の開館に向けて各図書館の開館時間及び休館日について【事務局より説明】

委員・・改正をするのはいつ頃からになるのか。

事務局・委員の皆さんからもご意見を頂戴したいと思っているが、中央図書館のオープンするときからよりも、オープンの年度当初からとした方がタイミング的にはいいのかなあとも思っている。

委員・・改正案をみさせていただいて三郷の地域の方々がよくなったなあと思った。9時から5時までではお勤めの方はほとんど利用出来ない。もう少し長くした方がいいと思っているが、でも現在の司書の方たちをみてもほとんどが女性。そういった方たちを午後7時まで家庭に帰さないというのがはたしていいのかと自戒してきている。これからは団塊の世代をボランティアとして使う方向で検討したほうがいいのではないかな。すべて司書の資格を持っている必要があると規定しなくてもいいのではないかな。それから中央図書館ができたとしても、明科が午後7時30分までやっていたのを午後6時までにするということを納得するのか。何か地域の事情があったと思う。

委員・・明科の図書館が出来るときの検討で、やはりお勤めの方のことがでた。電車が一時間に一本しかないので、7時とか7時30分まで開館していれば利用していただけるのではないかなということだった。現在実際にどれくらい利用されているか私は知らない。

委員・・明科の図書館は学習するところがついているので、図書館を利用するというよりも勉強するのに7時30分までというのが使いやすかったのだと思う。これが6時になってしまうと図書館からしめだされてしまう。ロビーのところに机やイスはあるが冷暖房がきかない。冬は震えなければいけない。夏は暑い。学生さんのために学習館を一部屋開放してもらうなど考えてもらいたい。

委員・・明科は明科高校との関係で今の時間になっていると聞いた。アンケート結果をもっとしっかりみて検討していただきたい。あなたが普段もっとも利用していると図書館はというところで、豊科図書館が穂高よりも多い。もっとはやく開館してほしい、もっと長く開館してほしいという意見が多いのにはびっくりした。私もその1人。穂高だけ9時から8時まででのばせばいいのか、この結果をみて検討してほしい。安曇野市は松本とは違ってもう少し地域性について考える必要があるのではないかな。

委員・・統計をみると土日を利用されている方がどの館も多い。そうすると中央図書館の平日午後8時までが必要かどうか。ほかの4つの図書館が、地域性など考えると6時まででいいのかな。非常勤や臨時の人たちが現在ほとんど。職員体制を考えると午後8時まででいいのかな。

委員・・午後8時までで賛成。職員うんぬんは、利用者を優先してそのあと考えるべき。1年くらいやってみて利用者が少ないようであれば見直せばいいのではないかな。

委員・・条例、規則との関係があるのでいいだけの意見をいっとけばいい。穂高は地域図書館も兼ねている。夜7時、8時まで開けていてどんな人がいったい残っているか。しかしアンケート結果にも開館時間の延長をといる結果が出ているので、現状にいくらか上積みされるというのがベター。

#### (6)その他について。

委員・・ボランティアが本を自分で借りて福祉施設に持って行き読み聞かせをする。そして次のリクエストを聞く。こういった活動ができないかと思う。

事務局・団体登録をしていただければ、貸出期間も1ヶ月以上とか、冊数も個人貸出よりも多い冊数をお貸しすることができる。前回の議論で移動図書館の廃止の方向で検討する場合の代替措置として子育て支援、高齢者支援の施設に配本していくという説明をさせていただいた。現在デイサービス施設、子育て支援施設など15施設に配本をしている。図書購入の点で配本して喜んでいただける本がまだ少ない。選書の際に検

討していきたい。そして配本先も今後増やしていきたいと考えている。

委員・・・市の大事な活動となっていくのではないかな。

委員・・・県の概況にある、1人あたりの貸出冊数の3冊というのは年間の数か。

委員・・・これは年間の数。安曇野市は4冊にしたいということ。

委員・・・そうすると登録率を倍にしなければいけない。

委員・・・登録率を増やさないといけない。今回図書館概況を配布していただいてありがたかった。新しい図書館ができて一番問題となるのは市民の意識だと思う。

事務局・・・図書館サービスのなかで本を充実させる、そしてハードもいろいろと整備する。またソフト面でもビジネス支援などいろいろと幅広い展開をする必要がある。その場合に午後8時まで開館したいという思いはある。

委員・・・朗読協力者として申込みをしたがその後どうなるのか。研修は今後あるのか。中心となってこの活動をするのはどこになるのか。

事務局・・・登録していただいた方に一度お集まりいただいて協議をする予定。窓口は穂高図書館に絞る予定。次年度以降高度な内容の研修や初級者のための講座なども開催予定。

委員・・・明科に図書館がほしいという運動をおこしたのは地域からお嫁にきた人達。登録率が上がらないということは長い眼でみていかなければいけない。図書館ができ、図書館で本を読んだ子どもたちが大人にならないと図書館の登録者は上がらないと思う。図書館の利用経験の無い今の大人たちが図書館を今利用するにはよっぽど図書館に面白いことがないかぎり無理。携帯で小説を読めるような時代、登録率を上げることは大変なこと。

委員・・・数字だけをいっているのではない。文化的な都市を目指すときに目安となる数値がないといけないということ。

事務局・・・ICタグなどについては本日の議論を尊重しながら事業化していきたい。ICタグや開館時間は人件費などコストの議論が絡んでいるのでその辺はご理解いただきたい。それから私どもがなぜ交流学习センターを建設するのかというと、社会情勢が変化し個人ひとりひとりが自分の好きな時間に居心地のよい空間で学びたいという要望があり、それに答えていきたいという考えがある。それから図書館協議会は3月にもう一度予定しているが、3月いっぱい任期が満了になる。委員の皆様には引き続きお願いしたいと思っているが、公募の方についてはもう一度全市的な公募をかけさせていただくことになるのでご理解いただきたい。

委員・・・図書館、交流学习センターをどうするか議論することは大切なことであり市民としての使命。本日はとてもよい議論が出来たと思う。